

2026年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

一般入試、外国人留学生入試、  
学士・修士一貫教育トラック特別選抜  
専門試験（外国語を含む）

試験日： 2025年9月7日（日）

試験時間： 9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 問題1と問題2には、それぞれ別の答案用紙を用いること。
3. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。  
例：問題1
4. 問題1、問題2にはそれぞれ複数の問が含まれる。解答する問の順序は任意だが、問の番号・記号を明記してから解答を記載すること。例：(1)問1
5. 答案用紙の表面に書き切れない場合、裏面も解答欄として用いてよい。

問題 1

(1) 以下の英文に関する問 1～問 3 の設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

(出典：Beloe, P. et al. (2020). Adaptive working memory training can reduce anxiety and depression vulnerability in adolescents. *Developmental Science*, 23(4), e12831. より一部改変)

問 1 第 1 パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

問 2 第 2 パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

問 3 第 3 パラグラフを 120 字程度の日本語で要約しなさい。(20 点)

(2) 以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。なお、直訳すると意味が通じにくい部分は、意訳してもかまいません。(40 点)

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(出典：Heppt, B. et al. (2022). Number of books at home as an indicator of socioeconomic status: Examining its extensions and their incremental validity for academic achievement. *Social Psychology of Education*, 25(4), 903-928. より一部改変)

問題2

以下の英文はいずれもアメリカ心理学会が出版した辞典に取り上げられている事項である。  
それぞれについて見出しを含めて全文を日本語に訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(出典：American Psychological Association. (2014). *APA dictionary of statistics and research methods*. American Psychological Association. より一部改変)

2026年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）  
人間発達科学専攻・応用社会学コース  
（一般入試および外国人留学生入試）  
専門試験（外国語を含む）

試験日：2025年9月7日（日）

試験時間： 9:30 ～ 12:00

**【注意事項】**

解答は、問1、問2、問3それぞれ別々の答案用紙に日本語で記入すること。

2026 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻  
応用社会学コース 9 月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

- 注) focused interaction: 焦点の定まった相互作用  
glean: 知識・情報などを少しずつ集める, 収集する  
courtesy: 礼儀正しいふるまい  
"recognition": 挨拶, 会釈

(出典: Goffman, Erving, 1963, *Behavior in Public Places: Notes on the Social Organization of Gatherings*, The Free Press, pp. 83-84 より, 一部改変した.)

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。(20 点)
- (2) 下線部②"civil inattention"(儀礼的無関心・市民的無関心)について、本文に即して概念を説明しなさい。(20 点)
- (3) 都市における社会秩序と相互作用のありかたについて、その特徴や機能を社会学的に論じなさい。(50 点)

問2. 次の A, B の 2 問のうち, いずれか 1 問を選択して解答しなさい。(最初に A, B のいずれを選択したかを明記しなさい。)(50 点)

- A. プラットフォーム労働の可能性と課題について社会学的に論じなさい。なお, プラットフォーム労働とは, 組織または個人が, 収入を目的にオンラインプラットフォームを利用して他の組織または個人にアクセスし, 特定問題の解決や特定サービスの提供を行うものを指す。日本でよく知られているものに Uber Eats や Wolt がある。
- B. 犯罪率を高めたり低めたりする要因について, できるだけ多面的に社会学的に論じなさい。なお, 犯罪率とは, 警察において発生を認知した犯罪件数の人口 10 万人あたりの比率を指す。

問3. 次の①～⑥の人名や概念のうち 4 つを選んで, それぞれ項目の番号を明記してから説明しなさい。(15 点×4 項目)

- ① ピエール・ブルデュー (Pierre Bourdieu)
- ② 箱ひげ図 (Box-and-Whisker Plot)
- ③ ダブルケア (Double Care)
- ④ レイシズム (Racism)
- ⑤ 知識社会学 (Sociology of Knowledge)
- ⑥ 異性愛規範 (Heteronormativity)

2026年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（一般・社会人特別・外国人留学生・一貫トラック 入試）  
専門試験（外国語を含む）

試験日： 2025年9月7日（日）

試験時間： 9時30分～12時00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問題ごとに答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること。  
ただし、問題内に別途指示がある場合は、それに従うこと。

問題1 次の英文を和訳しなさい。

(ただし、人物の名前および英文の下から5行目のU'sは原語のままが良い。)

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

(註 下から5行目 three U's は *uppfostran* (upbringing), *undervisning* (teaching) and *utbildning* (education) を指し、斜体のスウェーデン語の頭文字がUである。)

出典： Olsson, L. M. (2023) *Becoming Pedagogue: Bergson and the Aesthetics, Ethics and Politics of Early Childhood Education and Care*. New York, NY, Routledge.

(p. 180 より出題)

## 問題 2

資料を読み、以下の問いに答えなさい。

- (1) 傍線部「年齢が私たちの社会で果たしている功と罪」について、筆者はどのように論じているかを簡潔に述べなさい。(150 字程度)
- (2) 現代の日本において「年齢」の扱われ方にはどのような現状や課題があると考えられるか。筆者による問題提起も踏まえつつ、あなたが考える具体例を挙げて論じなさい。(300 字程度)

出典：岡本夏木「記号としての年齢：その社会的文化的機能」。岡本夏木・麻生武（編）『年齢の心理学——0 歳から 6 歳まで』。ミネルヴァ書房, 2000 年, pp. 12-15. 一部改変。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

### 問題3

資料を読み、以下の問いに答えなさい。

- (1) 傍線部 A の「気候変動対策の時間切れが迫るなか、果たして私たちはなにをなすべきなのか。」という問いに対して、筆者はどう答えているのか書きなさい。(300 字程度)
- (2) 資料で取り上げられている問題に関して、現在、幼児教育において何が求められているのか論じなさい。(300 字程度)

出典：斎藤幸平(2020)『人新世の「資本論」』集英社, pp. 37-42 より一部改変。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。